

人 口	1,592(+3)
男 性	815(+5)
女 性	777(-2)
世帯数	857(+4)

令和 8年 8月末時点

高原の風

飯田高原を駆け抜ける！高校生ランナーが熱戦！

8月30日(日)、飯田高原の千町無田周回コースを舞台に「第31回九重町長杯九州選抜高校駅伝競走大会」が開催されました。九州各地から集まった高校生ランナーたちは、7区間42.195kmを一本のタスキでつなぎ、飯田高原を力強く駆け抜けました。沿道からは地域のみなさんによる温かい声援が送られ、選手たちの懸命な走りに大きな拍手が沸き起こりました。レース結果は、九州学院高校(熊本県)が2時間7分41秒で見事優勝。2位に小林高校(宮崎県)、3位に熊本工業高校(熊本県)でした。飯田高原を舞台に繰り広げられた高校生たちの熱いタスキリレー。選手のみなさんの最後まで諦めず走り抜く姿から、たくさんの元気と感動をもらった一日となりました。

大会は、地元住民のみなさんや関係機関、交通整理や中継所の運営など、さまざまな面でご協力いただきました。大会の開催にご理解とご協力をいただきましたみなさまに、感謝申し上げます。



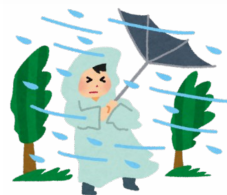
【表彰式】

【実行委員長挨拶】



毎年9月1日は「防災の日」です！

「防災の日」は、1923年9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れず、地震や台風、豪雨などの災害について理解を深め、日頃からの備えを見直すための日として定められています。また、8月30から9月5日までは「防災週間」とされています。(内閣府防災情報ページより参照)



災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。大雨や台風、地震などさまざまな災害を想定しておくことが大切です。この機会に、ご家族で「もしも」のときについて考えてみませんか？

非常食や飲料水、懐中電灯、モバイルバッテリーなどの備蓄品を確認すること。避難場所や避難経路を家族で確認しておくこと。そして、家族が離れた場所にいるときの連絡方法を決めておくこと。ちょっとした確認が、いざというときの大きな安心につながります。災害時には自分の家族の命を守る「自助」だけでなく、ご近所や地域で声を掛け合い、助け合う「共助」も大きな力になります。

「もしも」は、いつかではなく、いつ起きてもおかしくありません。

防災の日をきっかけに、家族で、そして地域で、もう一度「備え」について考えてみましょう！



燃えるゴミ以外の収集日です！お忘れなないように！

第1分別(ペットボトル・ビン・缶)(水)9/30, 10/7, 10/14
第3分別(電化製品・金属・アルミ類)(土)10/10
古紙類(水)9/23



発泡スチロール(水)9/23
新聞紙・チラシ(水)10/14

